



# 動物と触れ合い 絵で表現

## ファミリーパーク 作品は園内展示へ

富山 子どもたちが動物と触れ合い、絵で動物への思いを表現するイベント「グロリアスデイ2017」が14日、富山市古沢のファミリーパークで開かれた。描いた絵は、富山ガラス工房のスタッフがガラスパネルにしてパーク内のフェンスに恒久展示する。子どもたちは触れ合った動物を思い出したり、本で調べたりしながら熱心に描いていた。

富山に拠点を設けるAIG ジャパン・ホールディングスとファミリーパーク、富山ガ

ラス工房、富山福祉短大でつくる実行委員会が、発達障害のある児童と家族を対象に3年前から開いている。ことしは14、15日と2月4日の3日間で計120人が参加予定で、初日は15組20人が訪れた。子どもたちはモルモットを抱いたり、馬にニンジンをおげたりした後、絵を描いた。

触れ合った動物以外にも、色鮮やかなヘビや汽車に乗ったネコを描く子どももいて、作品を見て回った名田谷隆平富山ガラス工房普及課長は「子どもたちの絵は発想が自由でエネルギーを感じる。自分たちも制作が楽しみ」と話していた。ガラスパネルは3月下旬に設置する予定。